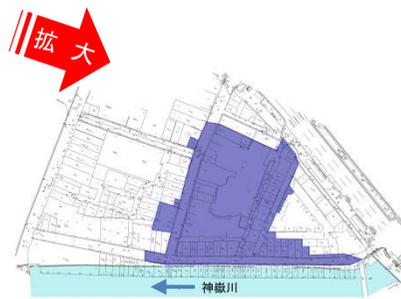
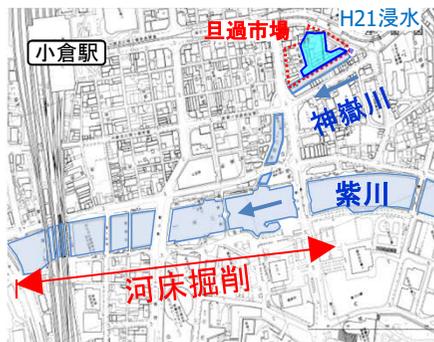
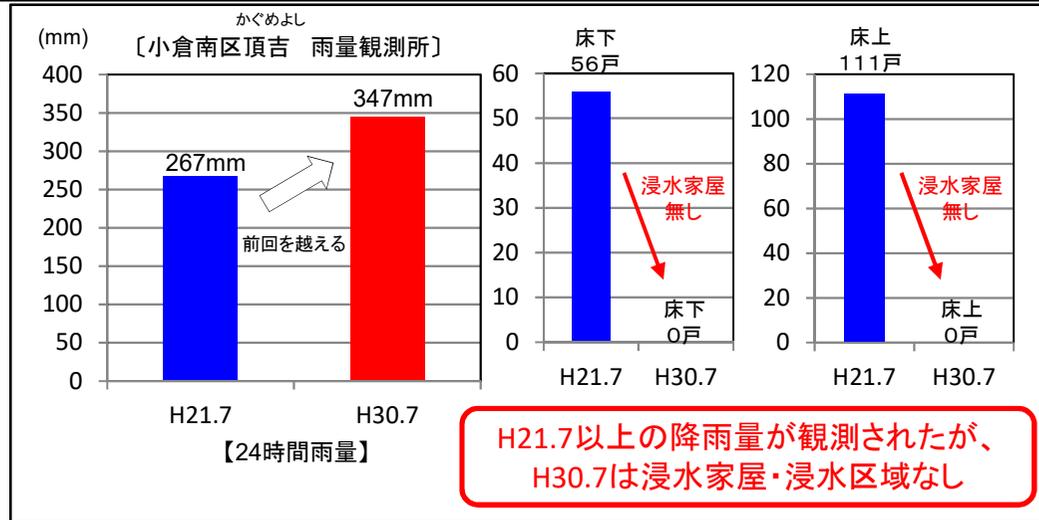


平成30年7月豪雨に対して、これまでの河川整備が効果を発揮

【福岡県 北九州市】

- 紫川水系では、昭和28年6月に発生した豪雨災害等を受け、都市基盤河川改修事業を実施しています。
- 平成21年7月洪水では、浸水面積2ha、床下浸水56戸、床上浸水111戸の被害がありました。
- 平成30年7月豪雨では、平成21年出水以上の雨量が観測されましたが、都市基盤河川改修事業で整備した河床掘削工事等により、下流域の浸水被害はありませんでした。



河床掘削工事の状況

